

令和9年産用も一部「備蓄種子」を供給します

稲備蓄種子は低温保管

しており出芽率が安定しています

発芽率(90%以上)を確認した種子を供給します。安心してお使い下さい。

低温備蓄種子は、休眠が浅いので当年産種子よりも出芽や初期生育が早い傾向にあります。(図及び写真)

低温備蓄種子の出芽率は高く安定しています。

(出芽試験は、通常の育苗と同じ 浸種→催芽→播種(ポット)→出芽(育苗器)を行い出芽率を調査したものです。)

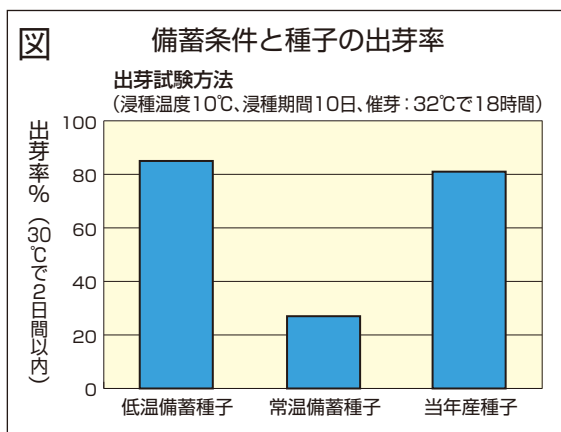


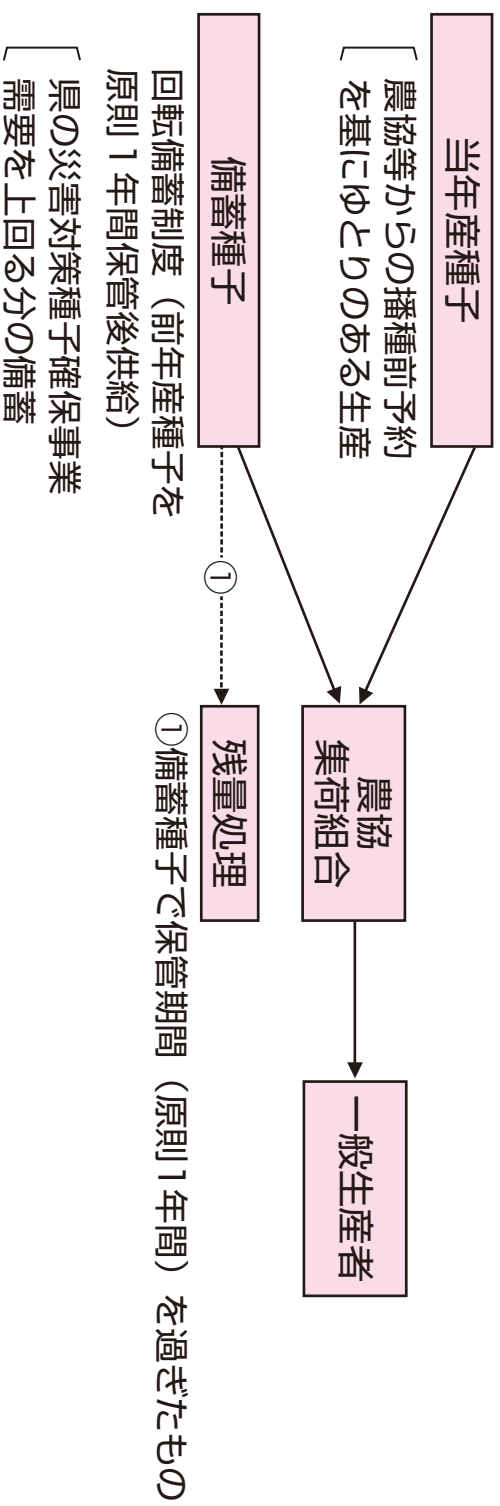
写真 稲種子出芽試験の様子(左から低温備蓄種子、常温備蓄種子、当年産種子)

- 種子の安定供給のため一定量の備蓄種子を保有しています。これらの備蓄種子は低温保管し、発芽率(90%以上)を確認のうえ供給します。
- 種子伝染性病虫害防除のため、必ず種子消毒を行いましょう。
- 品質向上と安定生産のために、県内採種ほ産種子による種子更新率100%を目指しましょう。

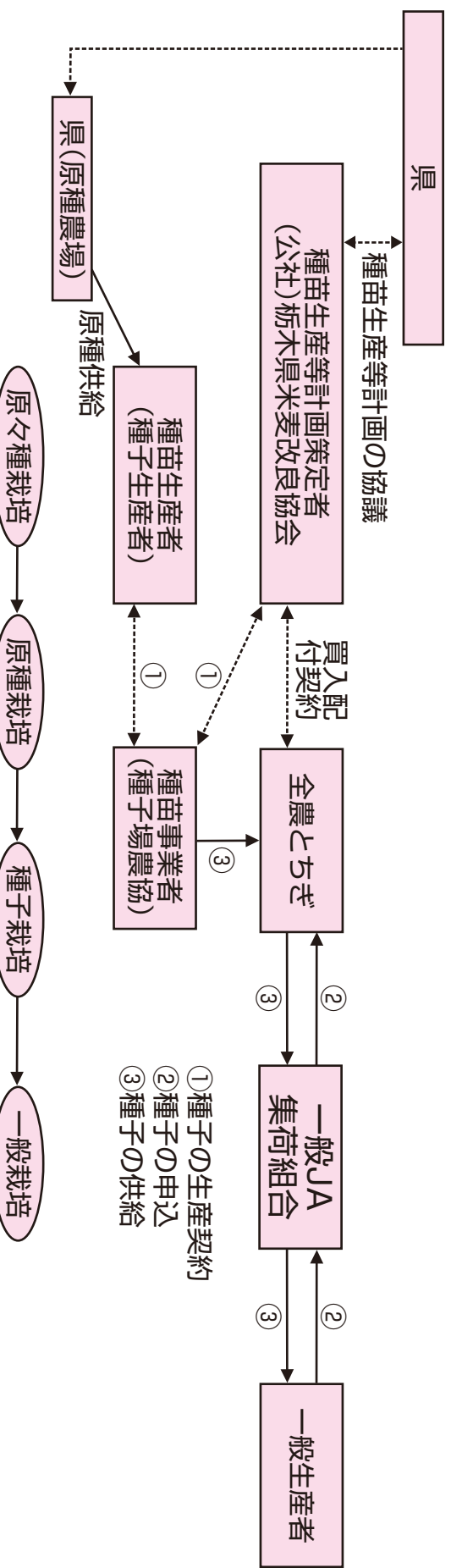
JA全農とちぎ・(公社)栃木県米麦改良協会

栃木県における種子の安定供給のしくみ（回転備蓄制度）

～生産者の皆様からの予約数量の精度向上と予約数量の引き取りが重要です～



稲・麦類及び大豆種子の生産・流通



※種子が生産されるまでには、原々種栽培から3年が必要です。